

第2回旭区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事要旨

日 時	令和4年5月11日（水）9時28分～12時14分
開 催 場 所	旭区役所本館3階カンファレンスルーム
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長：相澤 一喜（旭区医師会代表）</p> <p>委員：中村 広子（旭区地域子育て支援拠点運営法人代表）</p> <p>仁科 美奈江（めばえ会親の会代表）</p> <p>松浦 光洋（税理士）</p> <p>真鍋 貴子（旭区社会福祉協議会ボランティア分科会会長）</p> <p>峰松 雅子（旭区民生委員児童委員協議会会長）</p> <p>【事務局】</p> <p>福祉保健センター：亀井センター長</p> <p>福祉保健課：石津課長、伊藤係長、緒方、上地</p>
欠 席 者	<p>豊田 宗裕（聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科教授）</p> <p>中野 文雄（旭区老人クラブ連合会会長）</p>
開 催 形 態	一部非公開（応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答は、応募団体関係者を除き公開）（傍聴者なし）
議 事	<p>1 事務局説明</p> <p>(1) タイムスケジュールについて</p> <p>(2) 採点の仕方について</p> <p>事前の書類審査と本日の面接審査を総合的に勘案し、各項目について5段階で評価を行う。</p> <p>(3) 選定条件について</p> <p>最低制限基準（評価基準項目の項目7「前期の指定管理業務の実績」を除く配点合計の60%）を満たす必要があること。</p> <p>2 地域ケアプラザの指定候補者選定</p> <p><横浜市南希望が丘地域ケアプラザ></p> <p>応募団体：社会福祉法人誠幸会</p> <p>(1) プレゼンテーション及び主な質疑応答</p> <p>[プレゼンテーション]</p> <p>応募団体から、法人概要及び事業計画等について説明を行った。</p> <p>[主な質疑応答等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近心に残った対応が難しかった事例とそれに対してケアプラザとして何かできることはあるか。 →高齢者の一人暮らしや核家族化が進んでいる中で、ご近所との付き合いがなくて安否確認が取れないという話を聞く。先日、ご近所の方の顔を見なくなったという連絡が入り、訪問してみたら骨折して動けないという事例があった。ご近所で支え合える環境となるようにケアプラザが懸け橋となっていきたいと思う。

- ・買い物支援サービスを開始してどれくらい経つか。また、始めたきっかけは。
→いわゆる「移動スーパー」として始めて2年位経つ。老人会において、希望が丘南地区は、バスは通っているが、キャリーバック等の荷物をバスに載せることが大変だと伺い、買い物が大変な地域であると感じた。また、民生委員の方に御協力いただき、一人暮らしの高齢者の方にアンケートを実施したことが、買い物支援が必要であると改めて認識するきっかけとなった。開始にあたっては、自治会や民生委員等の協力を仰ぎながら進めることができた。

- ・ケアプラザは高齢者の支援等が多いと思うが、シングルマザーの方や、妊婦の方がケアプラザを訪れることはあるのか。
→ケアプラザを高齢者の施設だと思っている人の声はよく耳にする。子育ての拠点（居場所）として訪ねてくる方はいるが、子育ての相談等は少ない。

- ・もしシングルマザーの方や、妊婦の方等子育ての相談にケアプラザを訪れた際には、子育て支援拠点や地域の応援団体のことを是非紹介してほしい。また、移動スーパーなどは、子育て中の母親でも利用したい方がいる。広く周知していただくとともに、関連施設等にも情報提供していただきたい。

- ・過去の収支実績と提案書を比較した時に、提案書の指定管理料は少し余裕があるように見受けられる。これはどういった理由があるのか。
→昨今の物価上昇などを考慮しての金額となっている。

(2) 審査結果

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

応募団体名	総得点
社会福祉法人誠幸会	1,315点

※配点合計 1,800点（委員一人あたり300点×6名）

※前期の指定管理業務の実績を除く配点合計 1,740点

※前期の指定管理業務の実績を除く総得点 1,295点

※最低制限基準 1,044点（1,740点の60%）

以上より、次のとおり指定管理者の候補者を選定する。

- ・横浜市南希望が丘地域ケアプラザ
指定候補者：社会福祉法人誠幸会

(3) 講評

委員を代表して委員長が講評を行った。応募団体について選定委員の評価が高かった項目を紹介。

- ・社会福祉法人誠幸会

「運営ビジョン：担当地域の特色、課題及び将来像並びにそれに係る取組」

「団体の状況：財務状況」
「事業：生活支援体制整備事業」等

(4) その他

上記の選定結果を区長に報告する。

<横浜市二俣川地域ケアプラザ>

応募団体：社会福祉法人秀峰会

(1) プレゼンテーション及び主な質疑応答

[プレゼンテーション]

応募団体から、法人概要及び事業計画等について説明を行った。

[主な質疑応答等]

・ボランティアの確保は大変だと思いがどのように確保したのか。また今後の活動予定は。

→二俣川地区で全戸配布のアンケートを実施した。その際、ボランティアとしてどのような活動ができるのか記述してもらったため、今後地域とボランティアのマッチングに役立てていきたい。5月にはボランティア講座を予定しており、ボランティアを希望された方に案内予定。今後は講座数を増やしていきたい。

・二俣川地域ケアプラザは駅から近くて便利である一方、貸館が混み合いなかなか予約が取りにくいいため改善していただきたい。

→利便性が良い反面、予約が取りづらい点は他団体からもご指摘をいただいている。公平性の観点から致し方ない部分もあると考えているが、内容によってはケアプラザと団体が連携した共催事業としてご利用いただくこともできるので、改善方法を検討していきたい。

・認知症カフェに訪問される方はお一人か。それともどなたかとお越しになるのか。

→認知症であるご本人だけとは限らず、ご家族と来られることもある。また、ご本人やご家族以外の方にも参加いただいております。毎回20名程度集まっている。簡単なゲームも取り入れるなど、皆さんに来ていただきやすいカフェを目指して取り組んでいる。

(2) 審査結果

横浜市二俣川地域ケアプラザ

応募団体名	総得点
社会福祉法人秀峰会	1,429点

※配点合計 1,800点 (委員一人あたり300点×6名)

※前期の指定管理業務の実績を除く配点合計 1,740点

※前期の指定管理業務の実績を除く総得点 1,389点

※最低制限基準 1,044点 (1,740点の60%)

以上より、次のとおり指定管理者の候補者を選定する。

- ・横浜市二俣川地域ケアプラザ

指定候補者：社会福祉法人秀峰会

(3) 講評

委員を代表して委員長が講評を行った。応募団体について選定委員の評価が高かった項目を紹介。

- ・社会福祉法人秀峰会

「団体の状況：団体の理念、基本方針及び事業実績等」

「団体の状況：財務状況」等

(4) その他

上記の選定結果を区長に報告する。

以上